

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第65回 ビジネス文書実務検定試験 (2.11.22)

# 第1級

## 速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

### 〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

### 〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

## 第65回 ビジネス文書実務検定試験 (2.11.22)

## 第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

新たな仕事の流れを確立し、在宅勤務を導入する企業が急増して	30
いる。その変革のターゲットとなったのが、日本特有のハンコ文化	60
と呼ばれるものだ。契約書や起案書などに押印するために、出社を	90
余儀なくされる事例が多いからだ。書面主義を原則としたビジネス	120
の慣習や行政手続きを見直し、デジタル化を推し進める機運が急速	150
に高まってきている。	161
ハンコは文書の責任の所在を明らかにし、信頼性を担保する手段	191
として昔から利用されてきた。海外で使用しているのは、東アジア	221
の国や地域に限られており、欧米を中心に直筆のサインが一般的で	251
ある。日本では、電子署名を押印や手書きの署名と同等に扱うとす	281
る法律が、2001年に施行された。しかし、契約を結ぶ際には、	311
書面とハンコがセットという慣習は根強く残っている。	337
一方で、IT企業を中心として、脱ハンコに向けた取り組みが広	367
がりを見せている。ある大企業においては、電子署名を導入するこ	397
とで、原則としてハンコを使う業務を廃止した。また、クラウド上	427
にある電子文書に、画面上で押印できる電子印鑑というサービスを	457
扱う企業もある。社外でもインターネットに接続できる環境があれ	487
ば、押印が可能のため、利用する企業は大幅に増えている。	515
これらの導入には、契約を締結する新たなシステムの構築が必要	545
だ。それには、取引先に業務の効率化やコスト削減、生産性の向上	575
などといったメリットを丁寧に説明し、同意を得ることが不可欠で	605
ある。国は押印の廃止に向けて、公的制度を見直し始めた。すでに	635
一部の自治体では、ハンコを使わずに行政手続きができるという。	665
脱ハンコが一つのきっかけとなって、これまでの仕事の流れや働き	695
方が大きく変わろうとしている。	710